

【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

【重要】teacup_byGMOのサービス終了について

<思いやりのあるコミュニティ宣言>
teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

内容 [\(詳細\)](#)
 youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

URL

[\[ケータイで使う \]](#) [\[BBSティッカー \]](#) [\[書込み通知 \]](#) [\[検索 \]](#)

キーワード: [旭川 情報 歴史](#) [\[その他 \]](#)

《 前のページ 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 次のページ 》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

Re: 列車住宅生まれ 投稿者:lsxx 投稿日:2011年 7月17日(日)07時38分35秒

[返信・引用](#)

> [No. 448\[元記事へ\]](#)

いっちゃんさんへ

昨日早速、北星中学校の北側の区画を見てきました。
付近の区画と同様長方形の区画の中に斜めに並んだ
家が建っていました。この区画に列車住宅があった
かどうかは過去ログを読む限り疑わしいのですが、
不思議な区画が旭川にあることを実際に見ることが
出来て満足でした。

Re: 列車住宅生まれ 投稿者:lsxx 投稿日:2011年 7月14日(木)21時39分24秒

[返信・引用](#)

いっちゃんさんへ

google Mapの航空写真で確認したところ
丁度、北星中学校の北側に長方形の区画の
中に斜線の道路があるのが見えました。

今週末にでも現場検証にでも行ってみよう
かなと、思ってます。

Re: 列車住宅生まれ 投稿者:いっちゃん 投稿日:2011年 7月11日(月)01時41分44秒

[返信・引用](#)

> [No. 445\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

いっちゃんです。

> 先日、春光町1区10条辺りに行ってきたのですが、さすがに列車は見当たりませんでした。
> でも、当時は隠ばせるように区画割があつた辺りもまた他とは違うようです。
> 隙間無く建てられた住宅は列車の跡のような気がしますが、道路も細かったり行き止まりになっていたり計画された区画になって
いません。
→登記簿上の分筆などないまま、住民の居住権を追認する形で市から払い下げになったのかもしれないね。戦後の混乱を引きず
ってしまったという印象です。

> それから、博物館の列車住宅の模型はたぶん一車輦分ではなく後ろのほうはカットされ、横からは中が見えるようになっていたような気がするんですね。
> ほんとうはもっと長かったと思います。
→この掲示板にアップされている模型の写真を再度見てみたら、もう半分側の玄関ドアがありません。かんじさんのご指摘の通り、半分にカットした模型と思われます。気になって戦前の客車の規格などを探したのですが、2軸客車という短い客車が明治時代に作られていたことは分かりました。でも、それだと全長8〜9メートル程度で、やはり短すぎる。半分にカットされた模型と理解することが穏当ですね。

> いまのウツベツ川は当時は六合川（ろくごうがわ）と呼んでいたと、地元の人が言っていました。
→ウツベツ（ウツベツ）川について、僕の父親はオサラッペ川と言っていました。現在の地図を見ても古い地図を見てもオサラッペ川とウツベツ川は合流していないので、父親の勘違いだったんですね。でも、当時の住民も正式名を知らないくらい小さな川だったということでしょう。ちなみにオサラッペ川は大変な暴れ川だったようです。

春光町とウツベツ川については他にも心象が残っているのですが、的外れな感傷になりそうなので差し控えます。

かんじさんへ感謝をこめて

Re: 「氷点橋」「クリスタル橋」 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 7月10日(日)22時46分16秒

[返信・引用](#)

lsxxさん、書き込みありがとうございます。

最近気付きましたが、クリスタルホール隣りにある児童公園もクリスタルパークというんですね。
クリスタルホールにクリスタルパーク、クリスタル通りに、そしてクリスタル橋。
今や神楽方面の市の施設は何故かクリスタルの名のオンパレードです。

いったい誰がこの名を決めてるんでしょうね。疑問です。
ちなみに私が通りの名を市に提案した時は、「他にも意見があるので話し合いの機会を設けたい」と一度返事が来たきり、後は全く音沙汰ないままいつのまにかクリスタル通りの標識が付いていました。

こんな事があったので私は、クリスタル橋についても果たして本当に応募が一番多かったのかどうか疑ってしまいます。

Re: 「氷点橋」「クリスタル橋」 投稿者: lsxx 投稿日: 2011年 7月10日(日)10時06分42秒

[返信・引用](#)

> [No.384\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

今朝この掲示板に気づきました。
私もクリスタル橋には似たようなことを考えていました。
橋の一部にでもクリスタルが施せばまだしも、完成した橋は旭川市内にだったらどこにでもあるような何の特徴もない。

Re: 列車住宅生まれ 投稿者: かんじ 投稿日: 2011年 7月 4日(月)14時13分9秒

[返信・引用](#)

いっちゃんさんへ

こんにちは「かんじ」です。
ついに、列車住宅（列車長屋）ご出身の方の登場ですか、ITネットワークって素晴らしいですね。
といっても私とほぼ同じ年代、30年代の記憶が定かではないのは共感します(^_^);
私は緑町でしたが、当時は田んぼの中でどじょうを捕って遊んでいましたから、、、。
先日、春光町1区10条辺りに行って来たのですが、さすがに列車は見当たりませんでした。
でも、当時を偲ばせるように区画割があつた辺りもまた他とは違うようです。
隙間無く建てられた住宅は列車の跡のような気がしますし、道路も細かったり行き止まりになっていたり計画された区画になっていません。
それから、博物館の列車住宅の模型はたぶん一車輦分ではなく後ろのほうはカットされ、横からは中が見えるようになっていたような気がするんですね。
ほんとうはもっと長かったと思います。
当時の記憶がわずかでも残っていらっしゃる方の存在は大きいです。
これからも、何か面白い記憶がありましたら、助けになってください。
いまのウツベツ川は当時は六合川（ろくごうがわ）と呼んでいたと、地元の人が言っていました。
昭和30年代の緑町の記憶がわずかに残る「かんじ」でした。

Re: 列車住宅生まれ 投稿者: いっちゃん 投稿日: 2011年 7月 3日(日)22時01分36秒

[返信・引用](#)

> [No.443\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

いっちゃんです。

住吉町については謎が残ります。
細長い構造物を設置するなら斜めじゃない方が自然と書きましたが、逆に、狭い道に長い車を入れるなら直角ではなく、斜めに道を作った方が楽なのかなあ、なども考えてしまいます。
大町の引き込み線を使えば、意外と少ない移動量で作業ができた可能性もありますね。
父親が生きておれば詳しいことも聞けたでしょうが今は鬼籍。母も認知症で記憶をたどる力はありません。
私も、もう少し早く生まれておれば、決定打を打てたのですが（笑）

またこちらの掲示板に遊びにきます。

Re: 列車住宅生まれ 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 7月 3日(日)17時20分57秒

[返信・引用](#)

いっちゃんさん、はじめまして。

この話題しばらく続いており、不明点が多いながらもそこそこ情報が集まったわけですが、ついに実際住まわれていた方からの書き込みという事でたいへんビックリしています。
当サイト、さほどアクセスが多いわけではないし、列車住宅に住まわれていた方の数だって全体から見ればごく少数でしょうからこの確率というのはすごいですね。
もっとも、このような話題を採り上げるサイト自体が稀有だとは思いますが（笑）

そうですか、1区のウツベツ川沿い列車住宅でお生まれという事は、まさに博物館に展示されている住宅で生まれたという事ですね。
ただ、私もあの博物館の模型は少々正確さに欠けているのではないかと感じます。
実際の客車はもっと長いように思いますが、私も鉄道車輛に詳しい訳ではないので、あのような短めの客車も実際あったのかもしれないですね。
でもあの模型サイズだと、いっちゃんさんが言われる2軒分の間取りは明らかに苦しい気がします。

いっちゃんさんが、住吉町ではなく春光町のお生まれなのがちょっとだけ残念です（笑）
私を含め、これまで実見聞された方々の証言から、斜め区画にあったのもやはり列車住宅ではなかったかというのが有力になってい

ですが、一番の問題である、何故斜めにしたか？という疑問だけは謎のままです。まあでも、このくらいの謎が残っていたほうが楽しいのかもしれません。

私も中学から高校時代の一時期ですが3区に住んだ経験があります。いっちゃんさんは、年齢的にも私やかんじさんと同世代のようですから、懐かしい話もできると思います。ぜひまた遊びにいらしてください。

列車住宅生まれ 投稿者:いっちゃん 投稿日:2011年 7月 2日(土)01時17分46秒

[返信・引用](#)

アイヌ民族関係を調べようとしているうち、偶然にもこの掲示板にたどり着きました。

じつは、私、この掲示板で話題となった「列車住宅」の生まれです。ときは昭和30年。住所は春光町1区10条、ウツベツ川のすぐ近くでした。昭和33年には引っ越しましたから、正確な記憶はありませんが、いろいろなことが記憶に染み込んでいます。この住宅群は当時「汽車の家」とか「汽車長屋」とか呼ばれていたようです。住宅の構造は、客車1両を半分に区切ったものでした。入り口ドアを開けたデッキが玄関、デッキを挟んだ反対側(裏側)のドアの先に流し台とトイレ、連結部の外側には石炭を置くための物置があったと思います。デッキ部から客室側のドアを開けると、4畳半くらいの部屋、その奥に裸で仕切られた6畳ほどの部屋がありました。3歳児にとっては十分な広さでした。ただ、今思うと小さな引き上げ式の窓がたくさん並んでいたのは不思議でしたね。この列車住宅群、本来は市営住宅だったはずですが、ただ、大雨が降るとウツベツ川が頻繁に氾濫し、「こんな衛生状態の悪いところに金など払えるか!」と、家賃不払い運動が起こったと後に亡父から聞いたことがあります。ひょっとすると不法占拠状態がながく続いた可能性もあります。亡父は、引っ越しのとき「数千円で売り払ってきた」と言っていたようなかすかな記憶が……。子供にとって生まれた家など興味もなく、長らく忘れていました。ところが、昭和40年を過ぎたころ、まだ汽車長屋らしき形が旭川地図に載っているのに気づき「まだ残っているんだ」と思ったものでした。現在の私は東京在住ですが、実家は旭川にあったのでほぼ毎年帰省していました。昭和60年ころ、気になって春光町を探索してみました。そのとき一軒だけ、汽車長屋の名残らしき構造物が、母屋らしき建物の裏にあるのを発見しました。物置がわりに残ったのでしょうか、軒の低さに驚いたものです。

この掲示板で旭川博物館の汽車長屋の模型を拝見し、「うん、こんな感じだったな、でも、もっと建物は密集して建っていたし、長屋には窓がたくさんあった、入り口のドアも客車のドアそのものだった様な気がする」など、記憶とのすり合わせをしたところで

ついでに余計な憶測ですが……。住吉町の「斜め住宅街」はもちろん私の記憶にありません。しかし、直感的にあれば汽車長屋ではないような気がします。当時の客車は木造ですから、台座の金属部を外せば重くはありません。しかし長さは十分にあります。このような細長い構造物を移動するには、市役所の力では無理で、鉄道当局の機材が不可欠という気がします。もともと住吉町は軍の土地、春光町のウツベツ川近くは「番外地」です。市役所と鉄道当局にとっては番外地の方が仕事が楽。また長方形の構造物を配置するのなら、斜め配置より直交配置を考えるのが自然。

余計なことを書きましたが、この掲示、楽しみにしています。

Feeal旭川 投稿者:momonga 投稿日:2011年 6月29日(水)13時56分16秒

[返信・引用](#)

混み合うオープニングを避け、遅ればせながら私も覗いてきました。まずは街のど真ん中にある巨大な空家が解消され、人の出入りが復活した事にホッとしています。

フィール旭川は丸井今井から見ると、高級ブランド志向からかなり敷居が下がって入りやすくなったと思います。買物公園に面した2条側の出入口を復活させたのも大正解です。私のようなジュンク堂目的のおっさんでも、抵抗なく店の中を通り抜ける雰囲気です(笑)高級品で客層を絞ってしまうより、客単価は落ちて年代性別に関係なく気軽に立ち寄れるこういった雑貨店タイプの方があの場所には合っているような気がします。今回はまだプレオープンという事で、5階以上がまだ未完成なのと、地下食品売場のスカスカ感が否めませんが、さらに40店ほどのテナントが9月までに入店予定という事でますます楽しみます。

何だかんだ言って丸井今井閉店後のブランクは2年弱で済み、これだけの数の新たなテナントが集まるという事は、旭川の中心街はまだ他都市と比べマシである事の裏付けではないでしょうか。同じように中心街から丸井今井が撤退した、小樽、釧路、苫小牧はいずれも未だに空き店舗のまま再開メドが立たず、かろうじて室蘭だけが大手家電が決まっていますが、これは後継店と言うよりも解体した建物跡地に進出してくるだけの話に思えます。小樽、苫小牧は一度は複合施設やテナント店に衣替えしましたが、いずれも1、2年も持たずに再閉店となりました。釧路に至っては閉店後5年経っても閉鎖状態が続き、建物転売先の税金滞納で建物自体が差し押さえられている始末です。(苫小牧も)

旭川にとって幸いなのは、建物のオーナーとなったのが東証一部上場の証券会社という比較的資金力のある会社である事だと思います。それ相応の資金力がなければ、ちょっとテナント誘致につまづいたり、長期化したり、あるいは有力テナントに撤退されたりすると、オーナー自体が早々に行き詰まってしまっ、またまた建物の転売や閉鎖といった破目になります。こういった複合店舗は、まずは建物のオーナーが安定し信用ある事がテナントを誘致する上でも重要だと思います。

しかし、だからと言ってけっして安心してられる訳ではありません。どんなにオーナーが安定し、有名テナント・人気ブランドが来ようとも、店が続くかどうかは結局市民の利用次第です。もちろん店側の魅力づくりに努力も必須ですが、あの場所を二度と空家にしたくないと思ったら、市民もそれなりの意識を持つ事が重要ではないでしょうか。

Re: 列車住宅その後 投稿者:momonga 投稿日:2011年 6月22日(水)00時12分25秒

残念ながら、この住宅地図に私の家は入っていません。今の私の家も実家も、この地図の当時はまだ市街地から遥か離れた田んぼでした(笑)と言いますか、まだ旭川市ですらありませんでした。

斜め区画には、現在でも当時に建てられたと思われる建物が何軒か残ってますよね。

(リンク先はストリートビューです)
http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&ll=43.796715,142.350076&spn=0.0003422&t=h&z=19¤t=3.0x5f0ce5b612af671d:0xecae3cde139ac982_1&layer=c&cbll=43.796788,142.349459&spn=0.0003422&t=h&z=19¤t=3.0x5f0ce5b612af671d:0xecae3cde139ac982_1&layer=c&cbll=43.797214,142.349459

正直失礼ながら、現代基準からはもちろん、当時としても小さくて粗大な建物だったと思います。

それでも列車に詰め込まれていた思いからすると、遥かにましな一軒家だった事でしょうね。

Re: 列車住宅その後 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2011年 6月21日(火)09時51分1秒

[返信・引用](#)

> [No. 438 \[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> おお、31年の住宅地図とはすごいものを持っていますね。
> かなりひしゃげた地図ですが、当時の町内会かどこかで配布したものでしょうか。

昭和31年11月発行の旭川市々街案内地図は定価が付いているので販売されたものようです。
コピーを図書館で入手しました。momongaさんの家も入っているのかな？

1. 市内中心部200円
 2. 23丁目あたりまで ?円
 3. 旭町、住吉方面150円
 4. 金星町、新旭川方面100円
- の4枚組です。
他にも掘り出し物がありやらず、旦那さん(^_^;

> でも航空写真を見ると、確かに列車1輛置いてあったと思われるスペースに3~4棟、少ないところでも2棟の建物が確認できます。
> これはつまり、1輛の列車にそれだけの世帯数が収容されていた事を如実に物語っていると思います。
そうそう、これがmomongaさんが聞いた長屋ですよきっと。
昭和52年といえれば34年前ですが、その時代にあの大きさの住宅はきつそうですね~。

Re: 列車住宅その後 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 6月20日(月)18時28分30秒

[返信・引用](#)

おお、31年の住宅地図とはすごいものを持っていますね。
かなりひしゃげた地図ですが、当時の町内会かどこかで配布したものでしょうか。

市営住宅と言いながら建物も個人名も記載されていないという事は、
さすがに当時も列車住宅はあくまで仮設住居・仮り住まいという意味合いが強かったんでしょうね。

斜め区画を含むこの2区画の特徴は、他の区画と比べるとかなり窮屈に建物が立て込んでいる事だと思います。
隣家とほとんどへばりつくように建てられていますよね。
そこで思い出されるのが、私の聞いた「一つ屋根を4軒に仕切って・・・」という言葉です。
私はこれを聞いててつきり木造長屋だと思いましたが、まさかあの列車に4軒も詰め込まれるなんてちょっと想像の域を超えてました。
今でもそれはおばちゃんの記憶違いで、せめて2輛縦に並んだ列車合わせて4軒なのでは？などと根拠なく考えたりもします。

でも航空写真を見ると、確かに列車1輛置いてあったと思われるスペースに3~4棟、少ないところでも2棟の建物が確認できます。
棟と棟がほとんどくっついていて、屋根の色が違わなければそれこそ長屋に見えるくらいです。
今となっては物置などになっている建物も含まれるでしょうが、明らかに他の区画から見ると建物が密集してますよね。
これはつまり、1輛の列車にそれだけの世帯数が収容されていた事を如実に物語っていると思います。

当時この劣悪な環境に住まわれていた方々は、一刻も早く自分の家を持ちたかったに違いありません。

列車住宅その後 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2011年 6月20日(月)11時26分20秒

[返信・引用](#)

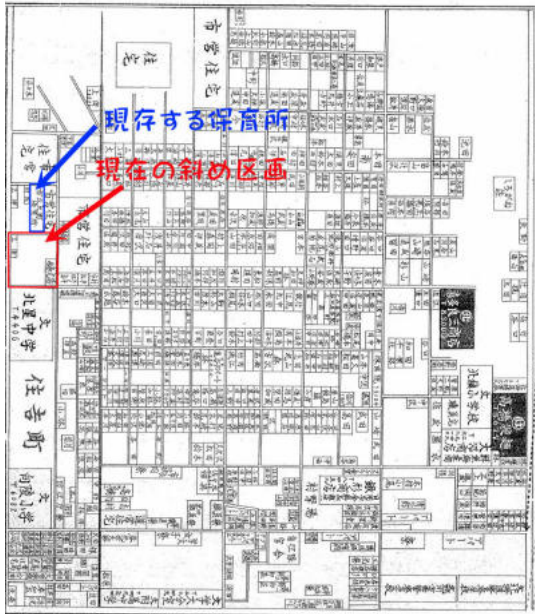
> [No. 436 \[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> それにしても、昭和37年といえれば戦後17年経っていますが、
> この時期でもまだこれだけの数の列車住宅が残っていた事にちょっと驚きです。
そうなんですよ。ビックリです。
実は昭和37年といえれば私は緑町にいたんです。もちろん覚えていませんが(^_^;

> 斜め区画については、一戸一戸を良く見て比較すると、この時点で既に現在と戸割りがほとんど一致していますよね。
> つまり、ここにあったのが列車住宅であったとすれば、この区画の住民は割と早い段階で列車からの脱却を果たしたという事なん
でしょうね。
> ただし、全戸が一気に建て替えられた訳ではないでしょうから、
> 列車がまだ残っている斜めの状態のまま土地の割り振りをせざるを得なかったという事だと想像します。

そうなんです。31年の住宅地図を見ると、列車住宅の場所は「市営住宅」と表示されています。
そして斜め区画は、人が住んでいるにも関わらず、東の角に「春光湯」という銭湯があって、
西の角に一軒だけ「三浦」という家が描かれて居ます。あとは空白です。
つまり、列車住宅の払い下げから自分の所有地に変更する際には、何がしの問題があったことも予想されます。



Re: 公園に建つ住宅 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 6月19日(日)22時30分22秒

[返信・引用](#)

かんじさん、列車住宅は春光町1区だけではないと思います。当時は国鉄車輛ばかりでなく、市街軌道などの電車も使われたと言われてますし、博物館の説明もかなり言葉足らずだと思いますが、全体の内、1区のウツベツ川河畔にあったのが16輛で、展示されている模型はその内の一戸をモデルにしたという意味だと思います。

真ん中の航空写真は私も始めて拝見しましたが、斜め区画のすぐ上に並んでいるのはいかにも列車っぽいですよね。たぶん間違いないのではないのでしょうか。下の戦後間もない頃の地図でもこの場所に「建物」が同じ数描かれていますが、1区のウツベツ川付近にはまだそれらしき建物が描かれてません。ということはもしかして、列車を置いたのは逆に住吉町のほうが早かったのかもしれない。と同時に、斜め区画のところにも7棟の建物が描かれてますから、やはりこれも列車だった可能性が大きいのではないのでしょうか。

それにしても、昭和37年といえば戦後17年経ってますが、この時期でもまだこれだけの数の列車住宅が残っていた事にちょっと驚きです。斜め区画については、一戸一戸を良く見て比較すると、この時点で既に現在と戸割りがほとんど一致していますよね。つまり、ここにあったのが列車住宅であったとすれば、この区画の住民は割と早い段階で列車からの脱却を果たしたという事なんだろうね。

ただし、全戸が一気に建て替えられた訳ではないでしょうから、列車がまだ残っている斜めの状態のまま土地の割り振りをせざるを得なかったという事だと想像します。



Re: 公園に建つ住宅 投稿者: かんじ 投稿日: 2011年 6月16日(木)18時27分33秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

なるほど、あいかわらず見事な考察ですね。

それから、

住吉の斜め住宅ですが、追加情報です。

旭川博物館に「列車住宅」という模型の展示がありました。

キャプションには「この建物は、戦後の住宅不足を補うため、春光町1区10条のウツベツ河畔に国鉄から払い下げられた16輛の客車のひとつで、住宅として売られたものです。」

とあります。

そして、昭和37年の航空写真を見ると、斜め住宅の場所ではなくウツベツ川の直ぐそばに、客車らしきものがずらっと並んだ場所があります。

この場所のことなのでしょうか。

しかし、住吉の斜め住宅の直ぐ上の場所にも、全く良く似た客車のようなものが整列しています。

しかもその数16輛です。

ここからは想像ですが、たぶんウツベツ河畔のほかに住吉の斜め住宅の隣接地にも列車住宅があったのではないのでしょうか。

そして昭和52年の写真を見ると、列車住宅と思われる家が、そのままの場所で住宅にしては妙に狭い長屋のような形に変わってずらっと並んでいます。

解らないのは斜め住宅が昭和37年の時点では既に一般住宅のように見えることです。

隣接する列車住宅が残っているのに、斜め区画が一般住宅ということは、斜め区画の場所は、列車住宅ではなかったということでしょうか？

謎は解けません(^_^)



Re: 公園に建つ住宅 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 6月15日(水)23時54分36秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

かんじさん、客観的に見ると確かに不自然極まりない民有地ですよ。
あたかも立ち退きを拒否して居残った民家としか思えないような印象を受けます。

ただ、花咲町には割とあちこちにこういった公・民有地が混在してるのも事実です。
たぶんこれも旭川特有の事情が隠れているような気がします。

この場合旭川特有の事情と言うのは主に川の事です。
花咲町は元々第七師団の衛戍地でしたから、本来は民有地は存在しなかったはずですよ。
ところが昔は、石狩川の河川敷が現在の国道40号線側にかなり大きく蛇行して食い込んでおり、
治水によって新たに利用可能になった土地を民間に払い下げたり、公共用地に充てて来たのだと思われます。
戦前戦後の地図を見比べて行くと、
金星橋寄りに多い民家は戦前の治水によって、川沿いの公務員住宅や問題の民家は戦後の治水によって生まれた土地に建てられたようですね。
もしかしたらここでも引揚者住宅がからんでいるかもしれません。

77年の航空写真は、時期的に競馬場が移転して花咲スポーツ公園の造成を始める直前ですよ。
ホント、公園のど真ん中に位置しますから、何故立ち退かせなかったのか不思議です。
それこそ、立ち退きを拒否されたのか、あるいはたまたま運動施設に掛からないから立ち退き要求しなかったのか、
実際のところ私にもわかりません。

PS: スポーツ公園が造成半ばのように見えるのは旧施設がまだ残されているからです。
球場も陸上競技場もよく見ると全て造り直す前の古い施設で、巨大なトラックは競馬場跡です。

公園に建つ住宅 投稿者: かんじ 投稿日: 2011年 6月14日(火)14時05分34秒

こんにちは

https://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs?page=24&

先日、市内をウロウロしてまして(^_^);
変わった場所を見つけましたので、ご報告です。
既に有名な場所であるならご容赦願います。
<http://www.google.com/maps?hl=jp&ie=UTF8&hq=&hnear=Asahikawa,+Hokkaido+Prefecture,+Japan&ll=43.789981,142.372714&spn=0.001282,0.00274>
Googleで表示される上記場所は、ズームを引いてゆけば解るのですが、
「なんと花咲スポーツ公園」のど真ん中なのです。
公共用地である巨大なスポーツ公園の真ん中に、民家が7件建っています。
周りは全て公用地です。そしてここへアクセスする道路は、行き止まりになっており、金星橋通からずーと奥まで、
ひたすら入った先にあります。
<http://www.google.com/maps?hl=jp&ie=UTF8&hq=&hnear=Asahikawa,+Hokkaido+Prefecture,+Japan&ll=43.789441,142.372955&spn=0.002744&z=19&layer=c&cbll=43.789512,142.156806&cbp=12,329,39,0,8,27>
河川側のアパート郡は開発局などの公務員宿舎ですし、どう考えても一般の民家が建てられるような場所ではありません。
想像では、花咲スポーツ公園ができる前から住んでいたのではないかと想像します。
昭和52年の空中写真を見ると、スポーツ公園の整備が半ばという感じですが、既に民家があります。
http://w3land.milit.go.jp/Air/photo400/77/cho-77-19/c12/cho-77-19_c12_9.jpg
スポーツ公園の真ん中で、交通の便は悪そうですが、周囲の環境は素晴らしいでしょうね。

Re: 富貴堂文具館閉店 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 6月 9日(木)00時24分0秒

[返信・引用](#)

ばちさん、お久しぶりです。

中心街からどんどん老舗店舗が消えて行く・・・、淋しい限りですね。
「富貴堂よ、おまえもか・・・」という感じです。

富貴堂の場合は郊外店があるぶんまだ救われますが、
それにしても、街の顔である中心街からこういった老舗の名前が消えて行くという事は、それだけ街の個性が失われて行くという事だと思えます。

文具館については、おっしゃる通り名前は富貴堂でも経営はかなり以前に御元である旭屋に引き継がれていたようですね。
ただ、建物は隣の旧富貴堂本店と合わせ、現在も富貴堂の所有であると思えます。
それと、書道用具などは昔から直営ではなく書道家によるテナントでした。

こういった老舗や小規模店舗の良さというのは、何と言っても個々のお客さんに対するきめ細かな対応しかないと思います。
それが失われた時は、どうしたって在庫量や価格面に勝る大規模郊外店に敵うわけはありません。
これまでの文具館がそうだったとは思いませんが、
せめて最後までその姿勢は崩さないでほしいものですね。

富貴堂文具館閉店 投稿者: [ばち](#) 投稿日: 2011年 6月 8日(水)06時53分16秒

[返信・引用](#)

ごぶさたしております。昨年コーチャンフォーについて書き込みをさせていただいたばちです。
とうとう富貴堂はマルカツに続き文具館も閉店ということで、大変ショックです。

以前の書きこみに「使い分けたいと思います」と宣言しました。
書籍は元々マルカツの品揃えが不満だったので完全にコーチャンフォーへ移行しましたが、文具は本当に使い分けていました。
特に文具館の事務用品・画材、スタッフの商品知識は本当にありがたかったです。
それだけに辛かったのが営業時間の短さで、文具館1F19時、2・3Fが18:50の閉店に何度泣かされてきたかわかりません。

また、レジには「ギフトラッピング・個包装・商品説明お断り。案内もお断りすることがございます」の断り書きにがっかりでした。
閉店セールで店内全商品30%offということで、忙しいのはわかるのですが、ラッピングはともかく、商品説明もしませんなんてデカデカと告知しなくても・・・と思うのです。

さらに文具館ポイントカードは5月31日で使用できなくなりましたと一方的な告知、ポイントカードだってスタンプ満杯になったカードを1枚持ったのに紙屑です。ポイントカード満杯=お得意様じゃないですか。新たにポイント付けることはできなくても、満杯のカードくらい対応してほしかったです。
ここからは私の思い違いかもしれませんが、ポイントカード使用不能の告知、5月中にはなかった気がするのです。確か閉店が道新に載ったのが6月1日頃だったかと。思いちがいたら本当に申し訳ないことですが、ポイントカードに関してはすっきりしません。

ちなみに、クレジット対応の待ち時間に店員さんから聞いた話によれば、郊外店と文具館は別会社で、文具館の親会社である「旭屋」は存続するという事だそうです。文具館の閉店、本当に残念です。

Re: 「旧国鉄の牙城」を更新しました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 6月 8日(水)00時13分23秒

[返信・引用](#)

かんじさん、こんばんは。

このレンガ棟はしばらく使い道が決まらずにいたと思います。
とりあえず保存修復は決まったものの、NPO活動の拠点に、という用途案がさすがに市議会でも異論が出て一旦は頓挫したはずですが。
使い道が定まらないままにいたのが、何故か結局こうなってしまった・・・

まあ、行政サイドにも市議会にも、本気で旭川に人を呼び込もうという意識が欠如している結果としか言いようがありませんよね。
現状では指定管理者となっているNPO法人にただ税金を浪費しているだけと言えます。

あの建物、暖房費が膨らむのはあたりまえだと思います。
改修後も内壁のかなりの部分は意図的にレンガ壁をむき出しにしており、新たな断熱材はほとんど施していません。
レンガそのものの持つ断熱効果に頼るのみですから、もしそれが想定外と言うならちょっと馬鹿過ぎです。

ホント、民間ならとくに首が飛んでますよね。

Re: 「旧国鉄の牙城」を更新しました 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2011年 6月 7日(火)13時01分11秒

[返信・引用](#)

> [No.428\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

CoCoDeには集会に一度行った事がありますが、なかなか洒落た建物だなあとしか思っていないでして。
ぜんぜん利用されていないんですね。
こういう計画は作る前に「見込み」を建てていたはずですが、どうだったんでしょう。
民間なら担当者は左遷ものではないでしょうか(^_^);

CoCoDeの情報を一つ、ここの暖房費なんですけど、べらぼうにかかっているそうです。

当初予定の数倍もかかってしまって、暖房費が大赤字という情報を聞きました。
リノベーションを行った建物ですので、断熱がなにか計画違いがあったんでしょうね。

それと

>例えば扇形車庫も残したならばこのレンガ棟とセットで鉄道公園のようなエリアを構成する事も可能だったはずですが。
>せめてこのレンガ棟だけでも鉄道記念館・歴史館のような使い方はできたのではないのでしょうか。

扇形車庫の解体の無念もあわせて、果てしなく同意致します。

「旧国鉄の牙城」を更新しました 投稿者:momonga 投稿日:2011年 6月 7日(火)00時11分27秒

[返信・引用](#)

遅ればせながら古くなっていった記述を中心に更新・再編集しました。
と同時に、「ココデいったい何するの?」と題して「Co co de」という愚の骨頂とも言える用途に関するサブコンテンツを追加しました。

旭川市市民活動交流センター「Co co de」が開設されて約1年が経ちます。

私は旧国鉄旭川工場レンガ棟が、このような訳の分からぬ用途に決定された時から注視してきましたが、やはり実態は馬鹿げてると思いますか、何のためにこの建物がこんな使い方をされなきゃいけないのか、という気持ちでいっぱいです。

ここをご覧になっている皆さんも、是非下記サイトを今後注視して頂きたいと思います。
Cocodeの予約状況を検索してみると、何と1ヶ月の内1~2日間を除きほとんどの日が利用可、つまり空き状態です。
(6、7、8月、利用目的を変えても同様)

施設予約サービス

<https://yoyaku.e-harp.jp/asahikawa/>

また、下記サイトを見ると「市民活動」とやらが何を意味するのかが見えてきます。

旭川市民活動情報サイト

<http://asahikawa.genki365.net/>

私は、こういった活動そのものを否定するわけではありません。
あくまで、この建物の用途としてどうなのか、という事を問題にしています。
また、フルに使われているのであれば、まだそれはそれで市民の需要があったのだという事で納得もしますが、実際には1年経ってもほとんどガラ空きで施設を遊ばせている状態は、やはり異常という他ありません。

このような用途に決定した経緯と、行政の責任を問うべきだと思います。

げに恐ろしきは涙雨かな 投稿者:momonga 投稿日:2011年 6月 5日(日)11時36分58秒

[返信・引用](#)

3日目の書き込みでは私も「科学を信用しません」などと言いましたが、正直、自分で言っておきながら恐ろしくなりました。

少なくともその時点まで向こう一週間の天気予報は好天続きでしたし、私も内心はそれを願ってました。
ところがどっこい、やはり来るものは来ました。
涙雨はもはや迷信などではありません。

願わくば、降るのは夜中だけにしてもらえれば・・ ^_^;

幸いにして、音楽行進の間は道路を湿らす程度でしたので大きな影響はありませんでしたが、アフターコンサートでは途中から少し降り方が強くなって、既に演奏していた前半チームはかわいそうに髪も楽器も濡らしながらの演奏でした。
残念ながら後半チームの演奏は中止となってしまいました。

上:”びびびびびびびび” は比布中学校チーム。

中: 毎年お馴染み王子製紙チームのパーカッション担当さん。
観客への一人パフォーマンスが受けています。

下: スクラッチ・ダーティー・プラスバンド。
昨年までパラソルをさしてプラカードを持っていた女性、今年はカウベルを持ってました。





> かんじさん 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 6月 5日(日)09時58分44秒

[返信・引用](#)

現地へ行って来たんですね。かんじさんもそうとう好きですねー(笑)
私も他人の事を言えるような立場じゃないですが、やっぱりどうしても気になりますよね。

でも、話を聞ける方に会えてよかったですね。
これで鉄道車両を証言する方が複数になりましたから、おそらく間違いはないんだと思います。
私も後日、サイトの記述を訂正しておくことにします。

情報ありがとうございました。

(無題) 投稿者: かんじ 投稿日: 2011年 6月 3日(金)10時45分49秒

[返信・引用](#)

実は私もあれから住吉の住人に聞いてみたんです。
お名前は聞かなかったけど、かなりの高齢者です。北星中学の4期生とっていたので
計算すると74歳くらいですね。白髪の男性でした。
その方によると当時はやはり払い下げ車両が、相当な数並んでいたようです。
引揚者もはじめのころは、第7師団の官舎に入ったそうですが、ぜんぜん足りなくなって
一気に相当の数の貨車を住宅にしてみたいですね。「ずらーと、と並んでいた」と言っていました。
そのうちに、中でも裕福な方が家を建て始めたらしいんですが、そのときは貨車の列に合わせて建てるしかなかったようです。
なので早期に家を建てた方の家が斜めなので、順次それに習ったんでしょうね。
逆にまとまって貨車を撤去した場所は正規の区画にあわせて建てられたのかな。
ということは今の斜め区画の方は早期に家を建てた方たちということになりますね。
最初に貨車を斜めに立てた理由はわからないと聞いていましたが、日光の関係とかじゃないのともも言っていました。
単純に方位磁石に合わせてただけかもしれないけどね(^_^);

Re: 住吉町の斜め区画 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 6月 1日(水)23時52分40秒

[返信・引用](#)

我々の旭川さん、情報ありがとうございます。
町内会長さんの話、具体的なだけに信憑性が高いですね。

私が以前話を聞く事のできた、当の斜め区画に住むおばちゃんの話では、
一つ屋根を4軒に仕切った同じ形の建物がたくさん並んでいたという事でした。
子供の頃だったので、出かけて帰ってくると自分の家が分からなくなったというエピソードも話されていました。
私はそれを聞いて「ああ、4軒長屋の事だな」と判断した訳ですが、もしかしたらそれは私の思い込みだったのかもしれないね。

いずれにしても、建っていたのが客車であろうと木造バラックであろうと、
結果的に斜めのまま土地を払い下げざるをえなかった事が今日に至っているのは間違いのないようですね。

当時の引揚者問題の混乱ぶりがそのまま形として残った象徴的出来事だと思います。

Re: 住吉町の斜め区画 投稿者: 我々の旭川 投稿日: 2011年 6月 1日(水)18時43分24秒

[返信・引用](#)

> [No.419\[元記事へ\]](#)

住吉の不可解な斜め区画の件で・・・
以前その地域の町内会長Sさん(既に他界されています)に直接お伺いした事があったのですが、
あそこの一画は、旧国鉄払い下げの車輛を何台か並べて、引揚者中心に住居として使用していたとか。
その当時から既に区画(道路)は斜めではなく、現在の方形の状態が存在しており、道路にはみ出ないように車輛を置くには斜めに置く
他なかった、とか。

その後、土地の所有権の件で何度も話し合いを重ねた後に車輛は撤去、各々土地に関する折り合いを付け、引越す者、そのままその
位置に住居を建てた者等、ヒキコモゴモだったようです。

その故S町内会長の奥様は未だご健在ですよ。

今年も音楽行進ネタを 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 5月31日(火)22時45分28秒

[返信・引用](#)

1年は本当にあつと言う間で、早くも音楽行進の季節がやってまいりました。
「北海道の初夏の到来を彩る祭典」というのがこのイベントの昔からの謳い文句ですが、

つい先日まで雪がチラつくほど寒かった事を思うと、北海道のこの時期の気候の激変ぶりを感じさせる祭典でもあります。

今年の6月第一土曜日は、護国神社祭の宵夜祭とも重なり、日程的には恵まれたと思います。

心配なのは、涙雨がどのタイミングで降るか？ です・・・

今のところ、この先1週間の旭川は好天続きの予報ではありますが、こればかりは私は科学を信用しません（笑）

さて、今年は行進ルートが若干変更されています。

これまで行進の終点・解散場所となっていた、宮下通りとJRとの間の空地に氷点橋への接続道路が開通したため、どのようなルート設定と交通規制がされるのか気になっていたところですが、案の定、単純に距離を短縮して宮下通りの手前、1条通りで行進終了となるようです。氷点橋が開通した今、宮下通り側の交差点を塞いでしまう事は橋の封鎖に等しいですから、まあこれは致し方ないと思います。

私は終点はしょうがないとして、スタート地点を護国神社に戻すべきだと思うのです。

この音楽行進は元々花咲町のスタルヒン球場の所がスタートで、それだけでなくとも距離が半分以下に短縮されています。何だかんだと難くせ（私に言わせれば）をつけられ、ルート短縮や呼称の変更を余儀なくされてきました。

過去の諸々の難くせの内、唯一納得できるのは国道40号線の交通問題でした。

当時はまだ高速道路も旭川新道もなく、大動脈国道12号線と40号線を結ぶのは旭橋か新橋を渡るルートしかなかったのです。護国神社～旭橋・ロータリー間を通行規制されると、市内の国道を通過しようとするクルマに多大な影響があったのは事実です。ただそれでも、年に1度の数時間、戦前から続く伝統行事に少なくとも市民は「あ、今日は行進かあ」で納得していたと思います。

しかし、行進ルートを短縮された後、高速道路が開通し、旭川新道や環状線の整備が進んで旭川市街は完全にバイパスできるようになりました。

市内走行においても、花咲大橋が新設され、金星橋・新橋の拡幅をはじめとする周辺の道路環境が大きく改善しています。

つまり、今ではこの区間の道路を通行規制したとしても、むしろ昔ほどの影響はなく、どうにでも迂回できるほど道路事情は良くなっています。

昔のルートの内、40号線の花咲町部分だけ短縮して大町スタートにすれば殆んど問題はないのではないのでしょうか。

このように距離の延長を言うと、必ず出てくるのが参加者の健康問題とやらです。

はっきり言って、最初から健康に不安を持てるようなら距離に関係なく参加は控えていただきたいし、参加させるべきではない。

もし本当に距離が問題だと言うのなら、幼稚園児が市役所前からスタートにしているように、

例えば小学生や特に希望する団体のみ現状のロータリースタートにするとか、いくらでも方法はあります。

そもそもこの音楽行進が花咲町スタートの頃は、確かに大人でもきつい距離を、小っちゃな小学生が楽器を抱えて最後まで歩き通すところに一つのステータスを見出す側面もあったのです。

また、ロータリーを隊列乱さず綺麗に周る事なども、行進技術の見せ場になっていました。

要は、今風の社会的過保護と、いざ何かあった時の関係者の言い訳・責任逃れ体質が垣間見えてなりません。

「行進の距離や管理に問題はなかった」と・・・

何よりも考えなくてはいけないのは、何故この音楽行進が旭川で興り80年近くもの長きに渡り続けているのか、という事だと思います。

その本質を考えると、スタート位置は護国神社であるべきだし、旭橋を渡るべきだと思います。

もちろんそこに余計な政治的思想・主張は必要ありません。

http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/sunto/ongakukoushin.html

ガーデン街道は1位だけど・・・ 投稿者: momonga 投稿日: 2011年5月27日(金)22時48分25秒

[返信・引用](#)

昨日の北海道新聞朝刊旭川版に、今後の旭川観光を占う上で重要と思われる記事が載っていました。その全文を紹介します。

旅行会社の人気ランキング「ガーデン街道」1位

旅行全国大手・クラブツーリズム（東京）の関東地方でのツアー人気ランキングで、旭川～十勝の7庭園が協力し昨年からはPRしている広域観光ルート「北海道ガーデン街道」を織り込んだツアーが1位となっている。

ツアーは「北海道ガーデン街道やすらぎ花曜日」で6～8月に実施。

羽田発着の2泊3日で、同街道のうち富良野市の「風のガーデン」など4庭園を巡り、温泉に泊まる。代金は、出発日によって5万～8万2千円だ。

最小催行25人で4月下旬に発売し既に29回の催行が決まり、うち7回はキャンセル待ち状態。

同社は申し込み人数を公表していないが、ランキングは毎週、月曜日更新で23日、前週首位のツアー「京都・大阪・神戸物語と有馬温泉3日間」を抜きトップに立った。

同社は「旭川の上野ファームなどの庭園を入れたツアーを長年PRしてきた効果が出た」と語る。

同街道協議会の上野砂由紀副会長は「庭園を北海道の新しい観光資源として協力してPRする企画が人気を得られて、大変うれし」と語っている。

さてさて、たいへん喜ばしいニュースではありませんか。

その割には記事の扱いが片隅で、ずいぶんとさりげないなと思いつつ、

ちょっと嫌な予感があったので、この旅行会社のHPを覗いてツアー内容を確認してみました。

<http://www.club-t.com/index.htm?li=hN> （クラブツーリズム関東版）

何の事はない、ツアーで巡る4庭園に上野ファームが含まれてないではありませんか。

しかも例によって新千歳空港利用です。

つまり、実際には旭川に一歩も足を踏み入れる事のない蚊帳の外ツアーを、さも旭川の事のように旭川ローカル版で報道している訳です。

私は常々、道新のこういった誤解を生む報道のしかたは問題だと感じています。

ま、それはともかく、他にもツアーは山ほどありますから、実際には上野ファームを含むツアーも多い事は承知しています。

要は富良野「風のガーデン」がそうであるように、絶対にツアーから外させないイメージづくりが重要なのだと思います。

同時に、現在造成計画が進められている北彩都ガーデンも、当然このガーデン街道に参加する事を念頭に置くべきです。

そのためにも、また、上野ファームとの相乗効果を生むためにも、けっして中途半端なものにしてしまわない事を切に願います。

Re: 住吉町の斜め区画 投稿者: momonga 投稿日: 2011年5月21日(土)13時21分32秒

[返信・引用](#)

かんじさん、はじめまして。

当サイト、楽しいと言っていたきたいへん嬉しい限りです。ありがとうございます。

あの斜め区画、ほんと不思議なんですよ。
当掲示板でも2008年12月に話題となりました。
私も不思議に思い、現地に趣いて年配の方々をつかまえて直接話しを伺ったりしました。
でも残念ながら、なぜ斜めに建物を配置したのかまでは分からず仕舞いです。

はっきりしているのは、あの付近は戦前まで射撃訓練場に隣接した練兵場で、特に軍の建物や道路はなかった事、戦後、引揚者用の長屋がこの付近に数多く建てられ、その時に一部が斜め向き（南北向き）に配置された事、その後区画整理で周辺の街路が整備され、この区画の建物だけが街路に対し斜め向きに残った事、結果的に、居住していた引揚者に対して斜めのまま土地建物が払い下げられた事、等々までは分かりました。

区画整理が先か、引揚者への払い下げが先かまでは調べていませんが、当時の事情を考えると、いずれにしても引揚者の方々が立ち退けるような状況になかった事は容易に想像できます。

つまるところ、最初に長屋を建てる時にあの向きにした事が今日まで影響してしまったという事でしょうね。
たぶん、当初は市が用意した長屋だと思うのですが、現在の集合住宅団地などを見ましても、スペースや日当たりを考慮して向きに変化をつける事はよくありますから、もしかしたら、単純にそういった理由なのかもしれませんね。

私の持っている地図（おそらく調査は1950年ころ）には斜めに建ち並ぶ長屋が記されていますから、かんじさんが紹介してくださった航空写真の直後くらいに、この不可思議の要因がつけられたと思われる。

住吉町の斜め区画 投稿者:かんじ 投稿日:2011年 5月19日(木)19時24分18秒

[返信・引用](#)

momongaさんの「何もない街」というサイトをとても興味深く読ませていただいています。
楽しいです。
なかで「住吉町の不可解な「斜め」」という項目があり住吉町の一角に斜めの区画があることに関して興味深い考察をされていますね。
なるほどと唸りながら読みました。
さらに私なりに古いくつもの航空写真などを見ながら考えてみたのですが、一つ気付いた事があります。
それはあの区画は家が正確に東西南北を向いているのです。
つまり周囲の家はおかしな方向を向いていますが、あの区画だけが正確に東西南北を向いています。
ここからは単に想像ですが、最初にあそこに住んだ人は軍隊の仕切った区画に沿わずに、何らかの理由で家を正確に東西に向けて立てたのではないのでしょうか？
バラックのような家で朝、東に上る太陽を受けるように東に面して立てたのかも知れません。
私の見ている1948年の航空写真ではまだあの場所に家らしきものはありませんが、周囲には家がたっており、特に斜めに建てなければいけないような地形には見えないのですね。
<http://archive.gsi.go.jp/airphoto/ViewPhotoServlet?workname=USA&course=R264&photo=32>
東西南北に正確、この辺りになにか理由がありそうな気がします。

> IMAIさん 投稿者: momonga 投稿日:2011年 5月19日(木)17時15分53秒

[返信・引用](#)

忠別川の河川公園からの撮影ですね？
あの辺り、富良野線鉄橋と神楽橋の間はもうほとんど環境が整ってますよね。
中心街も高架越しに見るとちょっとは都会っぽく見えます。遠くから眺めるぶんには・・・ ^_^;

私も先週、再度氷点橋を徒歩で渡ってブラついてきました。
開通した時はまだ雪が残っていたので分かりませんでした、
河川敷部分の環境整備は結構先行していて、駅裏付近まで進んでみたいですね。
既に下地と遊歩道はできていて、後は芝生や植栽などの整備を残すだけのように見えます。

私が楽しみにしている一つに大池があります。（写真）
ここに水が張られると、これまた風景が一変するのではないかと思います。
氷点橋（正確には北彩都橋）からはもちろん、駅のホームや高架を走る列車、特に富良野線から良く見えます。
この日も忠別川には4羽のカモと、たぶんアオサギと思われる鳥が泳いでいました。
もしかしたら、永山新川のようにたくさん水鳥がこの大池に来るようになるかもしれません。

ガーデンもこの大池付近を中心に整備されるようですし、
本当に駅の南口目と鼻の先だけに、旭川の新名所と成り得るスポットだと思います。



(無題) 投稿者: IMAI 投稿日:2011年 5月16日(月)15時11分34秒

[返信・引用](#)

お疲れ様です。

宮下界隈を歩いて来ました

景観がかなり変化しましたね (^o^)

旭川とは思えないほど・・・

2時間ほど歩いてなかなか楽しかったです。



旭川とニューヨーク 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 5月 9日(月)20時01分53秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

第2師団のサイトを覗いていたら、第2飛行隊HPの写真集の中にたいへん興味深い1枚の写真を見つけました。
(第2飛行隊HP)

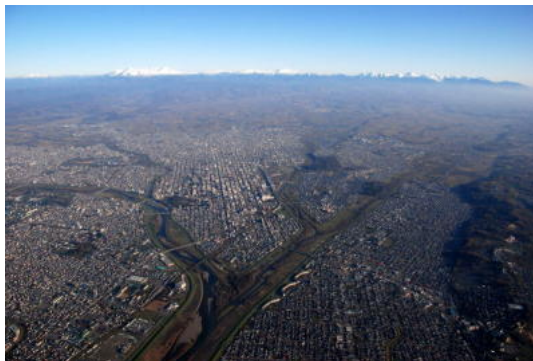
<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/2d/unit/butai/2avn/index2.html>

さすが飛行隊だけあって、普段あまり見る事のできない鳥瞰アングルからの旭川市街全景写真でした。
東海大学の真上辺りからの撮影でしょうか、中心街4条通りがちょうど真正面に見えます。(最初の写真)

この写真を見てどこかを連想しないでしょうか？
そうです。
まぎれもなく、ニューヨーク・マンハッタン島の姿です。

試しに、Google Earthを使ってマンハッタンがちょうど似たようなアングルになるよういじくってみました。
それが2番目の画像です。

正直、やってみて自分でビックリしました。
ここまでそっくりだとは思わなかった!!



ミズバショウにしました 投稿者: momonga 投稿日: 2011年 5月 7日(土)17時38分14秒

[返信・引用](#)

突硝山へ行こうとも思いましたが、足が春光台へ向いてしまいました。

春光台配水場隣の駐車場にクルマを置き、ぶらぶらと気ままにシャッターを切りながら寄生木の碑まで歩いてきました。
モチロン、高射砲台跡にも寄って3つの墓石に手を合わせてきました。

天気はあまり良くなかったんですが、前日までの寒さが和らいで、散策を楽しむ人が結構多かったです。皆さん様にカメラを抱えていました。

ミズバショウもいいですが、春光台公園は他にも原生の自然がいっぱい残っていて楽しいですね。サクラよりひと足先にコブシが花開いていました。



ミズバショウにしました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 5月 7日(土)17時29分15秒

[返信・引用](#)

上: どうしてこんな事になってしまったんだろう? 不可解な白樺
幼木の頃にツルが巻きついてそのまま合体してしまったのか?

中: 映画に出てくる怪獣のようにも見える倒木です

下: 高射砲台跡は変わらずにありました。3つの小さな墓石も・・・





Re: ごぶさたです。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 5月 3日(火)14時28分20秒

[返信・引用](#)

IMAIさんお久しぶりです。(^^)

カタクリ、綺麗に咲いてますねー。
今年は雪融けが早かったぶん、見ごろもやや早めでしょうか。
でも雪ちらつくほどのこの寒さで花も縮こまったかな。

ここ数年連続して行ってたので、今年は特に予定してなかったんですが、やっぱり行ってこようかな(笑)

ごぶさたです。 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2011年 4月30日(土)16時16分55秒

[返信・引用](#)

春ですね～～ (^^)¥

この時期名物カタクリ行ってきました。

連休～いい感じにぎわってました。

氷点橋いいですね～
面白い写真が撮れそうな予感が・・・



氷点橋が開通 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 4月 2日(土)12時36分52秒

[返信・引用](#)

昨日、開通した氷点橋を渡ってきました。
あまり時間がなかったので、とりあえず急ぎ足でシャッターを切って来ました。

たいへん眺望の良い橋だと思います。
橋の中央付近ではある程度高さもありますし、忠別川によって視野も大きく開けますので、
駅舎はもちろん、高架を挟んだ中心街のビル群、北彩都と河川広場全体、上川神社の丘陵、そして大雪山系全てを見渡す事ができます。
これまでの旭川にはなかったビュースポットである事は間違いありません。

雪融け時期でもありますが、橋の宮下側はまだまだ工事現場の中といった雰囲気ですが、
あと1、2年もすれば、中心街から用事がなくともブラブラ散策したくなる橋になることうけあいです。





たかが定数2減を否決 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 3月28日(月)23時03分48秒

[返信・引用](#)

私は以前から市議会定数の大幅削減論者です。
旭川に限りませんが、そもそも地方自治体にこんなたくさんの議員サンがいったい何のために必要なのか？
しかもやってる事と言えば、政党やら会派やら派閥が存在する国会の真似事でしょうかありません。
地元選出国會議員>道議會議員>市議會議員といった系譜や、与党野党といった関係も歴然と存在します。
また、利権を漁る議員や、活動のさっぱり見えない議員も相変わらずいるようです。

元来、立法機関である国会と地方議会とはその目的が全く違います。
市議会にはもちろん法律をつくるなどという役割はありませんから、てっとり早く言えば、市長の監視が主な役割です。
行政を司る市長の施策が適正であるかどうかを審議するのが目的なのですが、
ただし、市長の掲げる施策というのは、その多くが基本的に住民の直接選挙による洗礼を受けてきています。
ですからその施策の「良し悪し」について、市議会が改めて口を出すべきものでもなく、
あくまで、執行に当たったての予算の組み方や財源の充て方などが適切かどうかのチェックが役割なんだと私は思っています。
もちろん、マチを良くするという観点から、市議も多いに施策を提案するという責務もあります。

これら市議会本来の役割を考えると、私は議員の数は10人もいれば充分ではないかと考えています。
せめて今の半分にならないだろうかと思います。
実際、米国などではどんな大都市であっても市議の数が報酬は驚くほど少ないというのが実態です。
どちらかと言うと、ボランティアという考え方が浸透しているようです。

人数を大幅に絞れば、議員一人一人の付加価値が上がり、普段誰がどんな活動をしてるのかも見えやすくなります。
政党や会派といった、地方議会にとって無用の存在も、そもそも少数人数の中では意味を成さなくする事ができます。
もちろん、議員報酬や議会経費も大幅に削減する事ができるし、
とにかく私は市民にとって良い事づくめだと思っています。デメリットが思い浮かばない・・・

しかしながら、こればかりは当の議員サン達自分達で決めなければ成立しません。
つまり断言しますが、黙って市議会に任せていたら未来永劫実現する事はないという事です。
これこそ市民が声を上げ、プレッシャーをかけ続けていかなければならないでしょう。
具体的にどうプレッシャーをかけるか？

先日、一部議員より現在36名の旭川市議会定数を2名減らしましょという提案がされ、否決されました。
我々市民にできる事は、この提案に賛成した議員、反対した議員に、票の数で市民の意思を知らしめる事です。

被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 3月28日(月)22時36分57秒

[返信・引用](#)

おそらく大部分の日本国民は、これほどの津波を目の当たりにしたのは初めての経験かと思います。
過去にも起きたと言われる同様の大津波には映像が残されていません。
近年では奥尻の時にたぶん同じ事が起きたのですが、夜間だった事もあって津波が押し寄せた瞬間の映像はありませんでした。
私の記憶では、スマトラ沖地震の時に大量の瓦礫が内陸の街まで押し寄せた時の映像が、唯一今回の惨事に似た映像でしたが、
あの映像では、比較的ゆっくりと川と化した道路を瓦礫が流れて来る印象でした。
そして、こう思ったものです。
「日本ではあそこまで酷い瓦礫は発生しないんじゃないか？」

しかし今回、それがまったく根拠のない考えであった事を思い知らされました。
車はもちろん、船も大型トレーラーも、列車までも、まるでおもちゃのように流され、
木造の家は津波が到達した瞬間に全く踏ん張る事なく流されてバラバラになり、次々と連鎖的に瓦礫と化して行きました。
そしてこれらの様相が、まさにLIVE映像で目の当たりにする事となったのです。
むしろ、この日本で起きた今回の震災のほうがいよほど悲惨な様相を呈しているのではないかとも思えます。

たまたまですが、私の家の隣のお宅にも石巻で被災された一家が「疎開」されてきました。
まだ小さなお子さんがおられる家族ですが、高台に近いところに住まわっていたため無事で済んだそうです。

旭川でも揺れは感じました。
しかしそれは被災地に比べると比較にならないほど微々たるものでした。
けっして油断はなりません、改めて天災の少ない旭川に感謝するものです。

Re: 対応の悪い病院 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2011年 3月15日(火)00時33分2秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

ちゃんちゃんこさんへ

下記投稿、実名を挙げての投稿であったため削除しました。
悪意をもった誹謗中傷という事もあり得るための処置ですのでご理解ください。

>対応の悪い病院

>

>

> 旭川の〇〇〇〇クリニックに行きました。

>

>

> 受付をして、待ってる人は、母と娘の一組だけで、すぐ順番が来ると思っていたら、30分たっても『今日はどうしましたか?』の一言も無し…イラッ

>

>

> どうやら受付のおバアサンしか居ないらしく、あっちこっちへウロウロしてる…
 >
 > 一時間程して、痺れを切らした母親が『いつになったら診てもらえますか?』って聞いたら、診察してくれた…
 >
 > まだ待つのか…イラッ✚
 >
 > 嫌になってきたので、受付が居なくなった隙に、置きっぱなし(これもマズイと思うが…)になってた、保険証と診察カードをカウンターの前から奪い、別の病院に行ってきました。
 >
 > あんなとこ、行くもんじゃないです
 > (´□`)

「北彩都橋」って、あったのね... 投稿者:momonga 投稿日:2011年 3月 5日(土)13時11分0秒

[返信・引用](#)

忠別川に架かる2本の新橋の内、氷点橋が4月1日に開通する事が決まったようです。この橋が通れるようになると、神楽と中心街との交通が飛躍的に便利になります。と言いますか、神楽自体が中心街の範疇になると言ったほうが良いでしょう。

新駅には今後南口も設けられ、神楽からのJR利用者は4条通りや市役所辺りから歩くのと変わらない距離となります。意外と知られてないようですが、新駅の東改札口から宗谷線高架下を真っ直ぐに延びる通路の先には永隆橋通りに直接出られる出入口もあり、これはすぐに利用できるようになるとの事です。なんとも神楽に住む方々が羨ましい限りですが、かく言う私もクルマで中心街に向かうには氷点橋経由が最も便利なルートとなり、サンロクからのタクシー代もちょっとは安くなるでしょうから多少の恩恵は受けるわけです(笑)

ところで、私もつい先日知ったばかりなのですが、氷点橋・クリスタル橋に次いで「北彩都橋」という第三の名があったのをご存知でしょうか。氷点橋が事実上2本の橋から成っている事は知っていましたが、これらに別々の名が付けられていたとはビックリです。
<http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/NR/rdonlyres/B4B5F4B7-092E-4FB2-9C3F-05541E9E009B/0/gaiyou.pdf>
 (リンク先はPDFファイルですのでご注意ください)

このリンク先(上川総合振興局)の説明では、北彩都橋もあたかも市民の公募によって決まったような書き方をしていますが、そんな話は聞いた事ありません。私も橋の名称に応募した一人ですが、公募していたのは2本のみでしたし、決定後の報道でも氷点橋とクリスタル橋の2本のみでした。おそらく誰も氷点橋を2つに分けて別々の名を付けるなんて知らなかったのではないのでしょうか。

実は、私が応募した名も「北彩都大橋」です。しかしそれはあくまで1本の繋がった橋として見た上での「大橋」でした。
http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/384

駅側から渡る時は北彩都橋で、神楽側から渡る時は氷点橋になるなんて、ややこしくてしかたがありません。例によって、いつ、誰が決めたんでしょうね。

ジュンク堂続報 投稿者:momonga 投稿日:2011年 2月15日(火)22時44分25秒

[返信・引用](#)

先日、フィール旭川へのジュンク堂出店についてお知らせしましたが、今朝の道新朝刊にて出店計画が明らかとなりましたので、残りの情報もお知らせしておきたいと思います。

実は今回のジュンク堂出店については、その運営を全面的に富貴堂が請け負うようです。つまりMEGA店の撤退とジュンク堂の出店は、ある意味富貴堂の仕掛けとも言えます。ただし、ジュンク堂と富貴堂では書籍業界2大系列とも言えるトーハン・日販という出版取次店が異なるため、あまり大っぴらにできないという事ようです。

書籍業界は従来からこの取次店による系列はありましたが、今後はもしかして他業界のように小売販売店ベースでの系列・グループ化が進んで行くのかもしれない。あるいは地方の弱小書店は淘汰されてしまうのかもしれない。いや、都市部においてはそれはとっくに始まっています。

大正時代から地元根付く富貴堂にはぜひ頑張ってほしいと思います。

Re: リンクしました。 投稿者:momonga 投稿日:2011年 1月30日(日)20時29分7秒

[返信・引用](#)

hiroさんへ

リンクしていただきありがとうございます。また、わざわざのご挨拶たいへん嬉しい限りです。当サイトはリンクフリーですからまったく不都合な事はありませんので気になさらないでください。下記レスの通り、私自身は釣りをやりませんのでサイトとして直接の関連はなかなか出て来ないかもしれませんが、機会あればこういった視点からも話題を採り上げたいと思います。今後とも宜しく願っています。

リンクしました。 投稿者:hiro 投稿日:2011年 1月29日(土)22時39分38秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

論・旭川様を時々拝見している「道北の釣り」と旅」の管理人です。このたび貴サイト「論・旭川」様にリンク致しました。不都合な場合、また紹介文等で不備な部分があれば即刻対処致します。簡単ではありますがリンクのお知らせとご挨拶と思いメールいたしました。リンク先URLは
http://www.kitakaido.com/link/link_20.htmlです。
 末尾ながら同じ旭川である貴サイト様のご発展を願っております。

<http://www.kitakaido.com/>

MEGA店閉店の裏で始まっている書店戦争 投稿者:momonga 投稿日:2011年 1月26日(水)23時24分15秒

[返信・引用](#)

富貴堂がマルカツにMEGA店をオープンしたのは平成8年(1996年)の事です。以前、当掲示板でも触れましたが、マルカツの空いたフロアに本州大手書店が進出する計画があったため、これに対抗するための戦略の出店でした。当時の富貴堂は、それまでの中心街地域を主体とした旧来型店舗(本店・オクノ店・銀座店・イトーヨーカドー店等)から、レンタルビデオを併設した郊外型店への店舗展開をほぼ一巡し終えたところであり、この郊外化路線に相反するようなマルカツへの出店は、実のところ想定外でした。しかしながら、都心に空いたフロアを巡って「こちらがやらねばやられる」というせめぎ合いの下で生まれたのがMEGA店です。

そのMEGA店が残念ながらこの1月いっぱい閉店する事が決まりましたが、実はこの閉店劇の裏でまたまた大手書店を巻き込んだせめぎ合いが行なわれているようです。

今、丸井今井跡のフィール旭川にジュンク堂が新店出店するのでは？という噂がまことしやかに流れているようですが、私が知り得た関係筋からの情報をちょっとだけお耳に入れたいと思います。

- ・ジュンク堂の社長と富貴堂前社長は実は旧知の仲。
- ・ジュンク堂のフィール旭川出店計画は事実で、その可否は1月25日（昨日）に決定。（結果は私もまだ知りません）
- ・出店が決まれば、上層階のワンフロアではなく、1Fから各フロアの一部ずつを複数階に渡って合計1000坪使用する形態をとる。
- ・MEGA閉店によりフロアの空いてしまうマルカツ側もまた、別の大手書店に超破格条件で出店要請している。
- ・ジュンク堂の出店が決まればマルカツ側の話は流れ、西武に入っている三省堂もおそらく撤退に向けて動くだろう。
- ・ジュンク堂はコーチャンフォーを当面の競合相手と見て、専門書の品揃えを中心にして潰しにかかる。
- ・コーチャンフォーはもし旭川店で失敗すればかなり深刻な事態となる。

知り得た事実のみを箇条書きにしましたが、どこかが引っ込みばどこかが出っ張り、どこかが出っ張ればどこかが引っ込むというのが書籍業界の現実と言えます。さて、どうなることでしょうか。

Re: 駅周辺開発で出た弊害 投稿者:momonga 投稿日:2011年1月16日(日)11時42分3秒

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)

旭川の釣り人さん、はじめまして。
レスが遅くなり申し訳ありません。
新年早々たいへん難しい問題を提起して下さったと思います。

駅裏の忠別川河川敷の雑木林が伐採されたのは'08年から'09年にかけての事ですよ。
私は北彩都や新駅舎などの整備には肯定的な人間ですが、一方で自然も残したいという欲深な人間でもあります。
あの鬱蒼とした自生林がごっそり削られ、神楽側から旧富良野線ホームが丸見えになった時はさすがにショックでした。
橋の架かる部分はやむを得ないにしても何とか残せなかったものか・・・

私は釣りはやりませんが、魚の事はあまり詳しくありませんが、
「昔は市街地の側溝までサケがのぼってきたもんさ」という話はよく聞きますよね。
数年前にも釣りをやる知人から、駅裏の忠別川でニジマス（だったかな？）が釣れるんだよという話を聞いた事があります。
また、最近でも下の写真のようにアオサギでしょうか、飛来している姿を撮る事ができました。（'10年5月）
おそらく餌になる川魚がいるからこそ見る事のできる光景なのでしょうね。
35万人余の人口を有する街のど真ん中、それも中心駅のすぐ裏でこのような光景が見られるのは全国的にも稀有な事と思います。
私もこの貴重な光景を何とか失わないようにしてほしいと切に願うものです。

半面、都合のいい考え方もかもしれませんが、
私はこれらの環境を、旭川という都市の魅力として利用すべきだとも考えています。
その意味で、北彩都計画の「都市と川との融合」というコンセプトそのものには賛成ですし、
このすばらしい河川環境と触れ合うための若干の人工施設はあっても良いだろうと考えています。
南口広場に予定されている展望テラスは環境にさほど影響しないでしょうし、
忠別川の水を引き込んで新たに造成される大池などは、もしかしたら街の中心に第二の永山新川となる可能性もあります。

重要なのは、たとえ人間の手を加えるにしても、自然の植生が再生できる状態に保っておく事だと思います。
旭川の釣り人さんがおっしゃるように、人工的な造作物でがっちり固めてしまうと自然の植生は再生できなくなってしまいますよね。

仮に頭首工などの問題が解決したとしても、魚たちの戻って来る環境は失われたままとなってしまいます。
しかしながら、自然の植生が再生可能な状態にさえ保っておけば、自身の再生力でもって環境が復元されます。

実は、問題の忠別川もけっして手付かずの自然が残っていた訳ではなく、
古くは明治・大正時代から歴代行われてきた治水工事によって、それまで好き勝手に蛇行していた川の流れが整流され、
そこにまた自生してきた木々に覆われていたというのが実態です。
つまり、まだサケが遡上していた頃にしても、一度は人間の手によって大きく加工された後であったものの、
自然の植生が復元できる状態にあったからこそ遡上できる環境が保たれていたのだと思います。
ですから私も、治水に関係のない河川敷内の必要以上の護岸はやめるべきだと思います。

川の街旭川の開拓・創成期は、人間側も生きるために必死に自然と闘い、度重なる洪水から身を守るべく治水工事を行なってきました。

私はこの事までエゴと言うつもりはありません。人間にも生きる権利はあります。
おそらく昭和30年40年代の高度成長時代、環境を顧みなかった頃の開発の影響が最も大きいのではないかと思います。
（頭首工もそのひとつですよ）
河川の生態系は、環境条件さえ整えてやればある程度再生可能だと思います。
あとは人間の知恵でもってバランスを取って共存して行くしかないのではないのでしょうか。

写真は忠別橋より撮影





駅周辺開発で出た弊害 投稿者: 旭川の釣り人 投稿日: 2011年 1月 6日(木)00時45分53秒

[返信・引用](#)

はじめまして。生まれも育ちも水点の街・旭川のオヤジです。

いよいよ今までの駅舎周りの解体が始まり、旭川の玄関口も変わってきましたね。駅はいいんですが…それに伴って忠別川の護岸工事・公園整備やってますよね（泣）石狩川も美瑛川もそうですが…

川の町・旭川の誇る自然・生物の居場所がなくなろうとしています（泣）

なんでかと言うと、魚の居る場所が無いのです。護岸整備されると…川の中に重機を入れ、川を濁すと嫌がって下流に逃げるのもいれば魚種によっては死滅するものもあります。魚の生態をわからない人には水が流れていけば魚は住めると思ってる方がいますが、護岸されて直線化され、木・岩などの無い川には魚は住めません。曲がって、岩がゴロゴロして流れに変化があり、随所木が生えてないと魚は付きません。釣り好きの親父が何言ってるだろうとお思いの方がいらっしゃると思いますが、旭川の生態系が完全に崩れようとしています。明治までは、サケ・サクラマス・イトウ・ヤマメ・イワナなどの鱒類が目で見えるほど居たそうです。人工が増えるにつれ、川には堤防を築き、氾濫する川（牛朱別川が一番大工事）は護岸・埋め立てられ、魚が住む所がだんだん無くなり数は減少。自然の川にしか住めない幻の魚と言われるイトウは姿を消しました（泣）今は自然の残る猿払川・手塩川・釧路川、十勝川にしか天然魚は居ません。追い討ちをかけるように、47年前に深川に出来た魚道の無い花園頭首工（取水塔）のせいでサケとサクラマス（ヤマメの降海型）が遡上できなくなり、旭川からサケ・サクラマス・ヤマメが絶滅。川の町・旭川は人間のエゴで野生生物を絶滅に追いやったのです。その状況に気付いたのが平成にはいってから。各釣愛好団体・官庁関係が運動等を起こして、11年前に花園頭首工に魚道が付きサケの稚魚放流も始まりやっと去年新聞でも見た方もいると思いますが、駅裏に産卵後のサケの死骸が発見されたのを。調査では忠別川・石狩川は愛別まで上ってきたそうです。やっとサケ・サクラマスが帰ってくる川になったと思いきや、やな予感にはしていたんだけど駅開発で川をいじくり回した絶滅に追いやる気か？各釣愛好団体・自然保護団体がサケ・ヤマメを放流しても意味が無い状況（泣）

長々と書き綴ってしまいましたが、街は発展するが、自然・野生生物がなくなるって皆さんどうおもいますか？去年年末に旭商裏の林も伐採され、公園造成が始まってます（泣）

《前のページ》 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 《次のページ》

以上は、新着順1151番目から1200番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順 投稿順

[【論・旭川】HPへ戻る](#) [管理者へメール](#)

[RSS](#)

[管理者メニュー](#) [自分の投稿の編集](#)

[teacup.レンタル掲示板](#)

